

『聖霊の導きに従い、主を証しする』

吉田真司

ルカ福音書で、イエス様が語られた聖霊について調べるとこうあります。「言うべきことは、聖霊がそのときに教えてくださる」(ルカ 12:12) と。ここで言われる「言うべきこと」とは、自分がイエス様の仲間、弟子であることを言うことです。つまり、自分が(イエス・キリストを主と告白する)キリスト者であることを公言すること、そしてその力は聖霊によって与えられる、ということです。ヨハネ福音書では、聖霊は「弁護者」(ヨハネ 14:16) と呼ばれます。その方が来られるなら、イエス様が話された全てのことを思い起こさせて下さる、という約束です。

私たちは今、聖霊による宣教の時代を生きています。もっと言えば、聖霊が伴うキリスト者による宣教の時代です。やがて来られる再臨のキリスト、その終末を待ち望みながら、イエス様の弟子として為すべきことは、「心を騒がせず、おびえず」(ヨハネ 14:27) イエス様を証することです。そこに、地上の教会の役割があります。

イエス様が天に昇られた後、弟子たちは皆「心を合わせて熱心に祈って」(使徒 1:14) いました。この「心を合わせて」が教会形成の鍵です。他にも「毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り」(使徒 2:46)「心を一つにし、神に向かって声をあげ」(使徒 4:24)「一同は心を一つにしてソロモンの回廊に集まっていた」(使徒 5:12) などと初代教会の姿が伝えられています。あの聖霊降臨(ペンテコステ)の出来事も「一同が一つになって集まっている」(使徒 2:1) 時に起こったのです。

イエス様は言われます。「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである」(マタイ 18:20) と。私たちの都度の礼拝の「礼拝の言葉」の冒頭句です。本日も心を合わせて唱和しましょう。聖霊は、私たちの思いがバラバラではなく、共に心を合わせて集まる所に働かれます。そしてそこに働かれる聖霊の導きに従い、さらに主を証しする教会へと成長させていただきましょう。今年度の主題は「信仰によって励まし合う」です。宣教部では「証し」の機会を、会堂礼拝や相模原礼拝、さらに座間伝道所礼拝で創りたいと計画しています。

聖霊降臨節第二主日に際しての黙想

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30~12:00
家庭集会(相模原)	第二火曜日	午前10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>